

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 課題解決型図書館サービス提供事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111(内291)

E-mail : c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 352千円 (前年度予算額： 363千円)

<財源内訳>

| 区分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | |
|-----|-----|---------|---------|-----------|-------|-------|-------|-----|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使 用 料 手数料 | 財 産 入 | 寄 附 金 | そ の 他 | 県 債 |
| 前年度 | 363 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 352 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 決定額 | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県図書館では、窓口等における調査相談や図書資料の提供等、利用者の幅広い分野に対応した支援を実施している。また、県民の関心の高い分野や様々な社会的課題に対して、図書館の所蔵資料等を活用した支援を行うことにより、県民自らによる課題解決や、その取り組みを支える人々の活動を手助けしている。

県民の能動的課題解決の支援を実施する上で必要となる図書資料を、重点的に収集する必要がある。

(2) 事業内容

- ① 子育て世代・子育て支援関係者への支援
 - ・子育て支援事業の開催 ・子どもの読書活動支援 ・情報提供、調査相談強化
- ② 障がい者（児）・高齢福祉関係者、特別支援教育への支援
 - ・発達障がい等・特別支援学校・高齢者福祉施設への情報提供
 - ・バリアフリー関連資料の充実
- ③ 健康・医療分野への支援
 - ・がん患者サロンを通じた支援 ・健康医療情報の提供 ・がん講座
 - ・健康・医療関連資料の充実
- ④ ビジネス支援の強化
 - ・ビジネスライブラリアンの育成 ・ビジネス関係資料の充実
- ⑤ 法律情報の提供
 - ・法律関係図書等の充実 ・法律相談会の実施
- ⑥ 学校教育・教材研究支援

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10 中核図書館として県において実施することが妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-----|-----------|
| 報償費 | 137 | 謝金 |
| 旅費 | 100 | 費用弁償・業務旅費 |
| 需用費 | 53 | 消耗品費、会議費 |
| 役務費 | 16 | 通信運搬費 |
| 負担金 | 46 | セミナー参加料 |
| 合計 | 352 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023年度～2027年度）

II 政策の方向性 1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり

（1）未来を支える人、（2）誰もがともに活躍できる共創社会

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民の関心の高い分野や社会的課題となっている分野について、専門的な資料を充実させ、関連図書展示や催事等の機会を活用した情報提供による支援を行うことにより、県民自らによる課題解決に役立てる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (H27) | R6年度 実績 | R7年度 目標 | R8年度 目標 | 終期目標 (R10) | 達成率 | |
|--------------------|----------------|------------|------------|------------|---------------|-------|--|
| | | | | | | | |
| ①子育て支援事業参加者数(累計) | 0人 | 1,117人 | 1,300人 | 1,350人 | 1,450人 | 77.0% | |
| ②健康関連事業参加者数(累計) | 0人 | 866人 | 1,150人 | 1,350人 | 1,750人 | 49.4% | |
| ③ビデオ支援コーナー見学回数(累計) | 0回 | 87回 | 100回 | 110回 | 130回 | 66.9% | |
| ④法律相談参加者数(累計) | 0組 | 164組 | 196組 | 228組 | 290組 | 56.6% | |

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和4年度 | 感染症の影響が続く中、県民の課題解決につながる情報を提供するため、催事や図書展示を継続して実施。催事参加者も少しづつ増加してきており、県民のニーズが認められた。 |
| | 指標① 目標：1,100人 実績：920人 達成率：83.6% |
| 令和5年度 | コロナ感染症が5類に移行し、図書館サービスや講座等を本来の形式で実施でき、より直接的に県民の課題解決につながる情報を提供することができた。 |
| | 指標① 目標：1,200人 実績：1,044人 達成率：87.0% |
| 令和6年度 | 子育て支援や法律相談、健康医療に関する関係団体との連携事業など、徐々に参加者の増加がみられるものや毎回定員を超える応募がみられる事業があり、県民からの期待や図書館事業として定着していることを実感できた。 |
| | 指標① 目標：1,250人 実績：1,117人 達成率：89.3% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

| | |
|---|--|
| (評価) 3 | 事業対象はどれも今日的課題であり、県民の関心も高い。また、図書館を利用できない県民への支援や図書館の保有する情報の有効活用を図り、県民自らによる課題解決や県民の課題解決への取り組みを支える人々を支援することは県図書館にしかできない。 |
| ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) | |
| 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 誰もが気軽に足を運びやすい場という図書館の特性を活かし、館内での講座開催や講座内容に合わせた関連図書の展示を行うほか、必要とされる場所に出向いてニーズに合った資料提供を行うなど、県民の課題解決を推進している。 |
| ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) | |
| 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 2 | 講座の実施回数の見直しや実施形態の変更を適宜行っている。講座の開催案内は、各種関係団体を通じてテーマに関心を持つ層へ確実に周知されるようにし、効率的な募集ができた。 |

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

求められている資料について、関係機関・団体・専門家と連携し、事業を進めながらより有効に活用される構成を目指す。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

関係機関・団体からのニーズもあるため、引き続き県民の関心の高い分野や社会的課題となっている分野について、関連資料・情報の提供や、関係機関との連携事業を実施するなどして図書館が主体的に支援を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | 【〇〇課】 |
| 組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など | |